

環境経営レポート

対象期間：2021年度（2021年7月～2022年6月）



環境省
エコアクション21
認証番号0005885

株式会社二川工業製作所

作成日：2022年 8月10日

1. 環境経営基本方針

環境経営基本方針

- 1、環境経営マネジメントシステムの構築を図り、その適切な運用により、環境保護に結びつくよう継続的な改善を目指します。
- 2、弊社が行う事業活動において、環境に影響を及ぼす要因の中で、次の事を重点テーマとして取り組みます。
 - ・二酸化炭素排出量の削減
 - ・産業廃棄物排出量の削減
 - ・総排水量の削減
 - ・化学物質の適正管理
 - ・自らが生産・販売・提供する製品及びサービスについての環境負荷の低減
- 3、環境に関する法律、規制及び組織が認める外部からの要求事項を遵守します。
- 4、従業員に環境教育を実施し、環境方針の理解と環境に関する意識の向上に努めます。
- 5、事業環境の変化を的確に把握し、新規顧客開拓に努めます。

制定日 2007年12月 1日

改定日 2020年 9月 4日

株式会社 二川工業製作所

代表取締役社長 二川 昌也

2. 事業活動の概要

1. 事業所名 及び 代表者

事業所名 : 株式会社 二川工業製作所
代表者 : 二川 昌也

2. 全社所在地(認証登録範囲とする)

本社/加古川工場 : 兵庫県加古川市平岡町二俣249番地1
TEL 079-437-8110 FAX 079-437-0316

二見工場 : 兵庫県加古郡播磨町東新島13番地
TEL 078-941-2669 FAX 078-941-8152

尾上工場 : 兵庫県加古川市尾上町池田1885番地の1
TEL 079-426-8530 FAX 079-426-8531

神戸工場 : 兵庫県神戸市西区見津が丘7丁目5-5
TEL 078-994-0200 FAX 078-994-0250

陵南工場 : 兵庫県加古川市野口町水足123-15

野口工場 : 兵庫県加古川市野口町水足123-27

稲美工場 : 兵庫県加古郡稲美町岡537

3. 環境管理責任者 及び担当者名・連絡先

環境管理責任者 : 山本 隆史 (二見工場 工場長)
連絡先 : 二見工場 TEL 078-941-2669 FAX 078-941-8152

事務局 : 大霜 宏之 (加古川工場 生産技術課)
連絡先 : 加古川工場 TEL 079-437-8110 FAX 079-437-0316

担当者 : 家氏 一彦 (尾上工場 生産技術課 課長)
連絡先 : 尾上工場 TEL 079-426-8530 FAX 079-426-8531

担当者 : 川本 晃大 (神戸工場 生産技術課 係長)
連絡先 : 神戸工場 TEL 078-994-0200 FAX 078-994-0250

4. 全事業の内容(認証登録範囲とする)

建設機械装置及び部品、産業用ロボット部品、油圧機械部品の
機械加工・板金加工及び塗装・組立

5. 事業規模

規模	単位	#59期	#58期	#57期
		2021年度	2020年度	2019年度
		21/7~'22/6	'20/7~'21/6	'19/7~'20/6
売上高	百万円	10,660	7,196	5,889
従業員数	人	255	250	240
床面積	m2	19,862	19,862	19,862

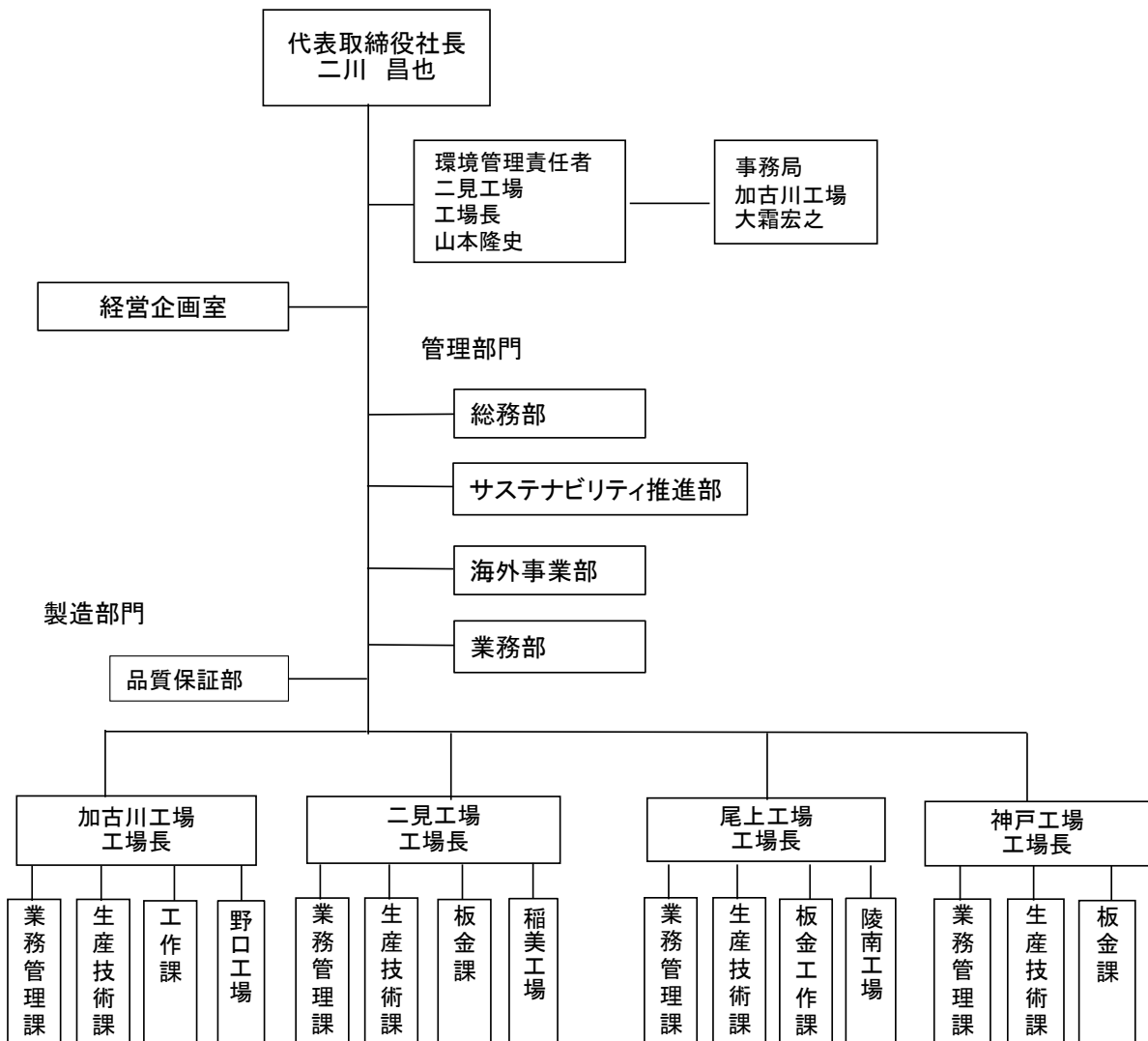
6. 事業年度

59期(2021年7月~2022年6月)

更新日: 2022年4月1日

代表者	環境管理責任者
二川昌也	山本隆史

3-1. エコアクション21改善推進体制



更新日:2021年7月1日

代表者	環境管理責任者
二川昌也	山本隆史

3-2. エコアクション21改善推進体制

● 社長は実施体制における、各自の役割・責任及び権限を以下の通りさだめる。

1)代表者

- ・環境経営に関する統括責任
- ・環境経営方針・環境目標の決定並びに見直し
- ・環境管理責任者を任命
- ・環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源(人材・設備・資金等)の準備
- ・環境活動計画の承認
- ・代表者による全体の評価と見直しを実施
- ・環境経営レポートの承認

2)環境管理責任者

- ・環境経営システムを確立し、実施・維持管理を継続的に運用
- ・環境目標・環境活動計画書を確認
- ・環境教育計画の承認
- ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告
- ・環境経営レポートの確認

3)各工場長

- ・該当環境関連法規等とりまとめ表の確認・承認
- ・環境目標、環境活動計画書、環境教育の活動状況確認
- ・環境関連教育、訓練の計画策定と統括
- ・緊急事態発生時の対応と報告

4)EA21事務局

- ・環境管理責任者の補佐
- ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
- ・環境目標、環境活動計画書、環境教育計画原案の作成
- ・環境活動の実績集計の取り纏め
- ・該当環境関連法規等とりまとめ表の作成と遵守評価の実施
- ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
- ・環境経営レポートの作成、公開(地域事務局への送付)
- ・自らが生産・販売・提供する製品及びサービスについての環境負荷低減

5)部門長

- ・該当環境関連法規等の遵守状況把握
- ・自部門における環境方針の周知
- ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況報告
- ・環境教育・訓練の実施
- ・緊急事態及び問題点が発生した場合、その処置と是正並びに予防処置の実施と報告

4. 環境目標 実績と計画

環境目標項目	実績値	基準年度		環境目標値 (対売上比)					
		2018年度		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
		18/7~'19/6		19/7~'20/6	20/7~'21/6	21/7~'22/6	21/7~'22/7	21/7~'22/8	
原単位 (量/売上)	売上高(億円)	82.85	売上高(億円)	58.89	71.96	106.60			
二酸化炭素排出削減			低減目標率	-1%	-2%	-88%	-89%	-90%	
	377,781	基準値	目標値	40,592	40,182	4,856	4807	4759	
	kg-CO2/億円	41,002	実績値	33,622	19,181	3,544			
エネルギー使用量の削減			低減目標率	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%	
電力	電力使用量の削減	6,273,337	基準値	目標値	86,169	85,298	84,428	83,557	82,687
	kWh/億円	87,039	実績値	85,109	79,828	58,849			
化石燃料	都市ガス使用量の削減	110,936	基準値	目標値	1,575	1,559	1,543	1,527	1,511
		m ³ /億円	1,591	実績値	1,504	1404	1041		
	ガソリン使用量の削減	5,612	基準値	目標値	108.8	107.7	106.6	105.5	104.4
		ℓ/億円	109.9	実績値	82.5	89.2	52.6		
	軽油使用量の削減	38,979	基準値	目標値	660.6	654.0	647.3	640.6	633.9
		ℓ/億円	667.3	実績値	586.8	545.9	365.7		
	灯油使用量の削減	6,978	基準値	目標値	99.1	98.1	97.1	96.1	95.1
		ℓ/億円	100.1	実績値	56.9	71.2	65.5		
産業廃棄物排出量の削減			低減目標率	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%	
廃プラスチック排出量の削減	20,326	基準値	目標値	269.5	266.8	264.1	261.4	258.6	
	kg/億円	272.2	実績値	251.6	208.4	190.7			
木くず排出量の削減	112,753	基準値	目標値	557.9	552.2	918.9	909.7	900.6	
	kg/億円	563.5	実績値	462.3	928.2	1,057.7			
紙の使用量の削減	1,510	基準値	目標値	26.58	26.31	26.04	25.78	25.51	
	kg/億円	26.85	実績値	34.27	22.26	14.17			
水使用量削減			低減目標率	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%	
水使用量の削減	12,272	基準値	目標値	108.0	106.9	105.8	104.7	103.6	
	m ³ /億円	109.1	実績値	89.3	138.6	115.1			
化学物質使用量削減		基準値	目標値	適正管理 管理値: 1台/6.97kg以下	適正管理 管理値: 1台/6.97kg以下	適正管理 管理値: 1台/6.97kg以下	適正管理 管理値: 1台/6.97kg以下	適正管理 管理値: 1台/6.97kg以下	
化学物質適正管理		1台/6.97kg以下	実績	適正	適正	適正			
自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組み		環境への 負荷低減	目標	掘り起こす	掘り起こす	掘り起こし 情報共有	掘り起こす	掘り起こす	
			実績	該当なし	該当なし	削減活動実施			

* 購入電力は、アスエネ株式会社 実排係数調整後:0.0000(kg-CO2/kWh)を使用

* 購入電力の二酸化炭素排出量が0になった為、二酸化炭素排出削減目標を基準値より-88%に目標変更した

* 木くず排出量の削減目標値は、2020年度の実績を基準値として、1%づつ下げる目標に変更した

6 環境活動の取組結果の評価

環境目標項目		目標値	実績	取組項目・評価		
取組項目・評価		原単位 (量/売上)	2021年度	達成:○ 未達成:×	評価	
2021年度実績値		売上高(億円)	106.60			
二酸化炭素排出量の削減		原単位 目標値	4,856	○	二酸化炭素排出量は、目標値より削減出来ています。作業の効率化が進み、化石燃料の使用量削減効果が出ています。	
		排出量/売上高	3,544			
		目標値比	73%			
377,781 kg-CO2						
電力	電力使用量の削減		原単位 目標値	84,428	○	電力使用量の削減は、各工場が、作業の集約化・効率化を進めた成果、及び事務所の照明をLEDに交換した成果により目標達成した。
	6,273,337kwh		使用量/売上高	58,849		
			目標値比	70%		
化石燃料	都市ガス使用量の削減		原単位 目標値	1543	○	洗浄工程のボイラー機に使用している為、生産状況に大きく左右される。今年度は削減出来ています。
	110,936㎡		使用量/売上高	1,041		
			目標値比	67%		
	軽油使用量の削減		原単位 目標値	647.3	○	フォークリフト作業の効率化・トラック運行管理の徹底により、使用量を大幅に削減できた。
	38,979ℓ		使用量/売上高	365.7		
			目標値比	56%		
	ガソリン使用量の削減		原単位 目標値	106.6	○	リモート会議を推進する事で、工場間や取引先との行き来が減った為、ガソリン使用量が大幅に減少した。
	5,612ℓ		使用量/売上高	52.6		
			目標値比	49%		
	灯油使用量の削減		原単位 目標値	97.1	○	塗装乾燥に使用しているが、作業の効率化により削減できている。
	6,978ℓ		使用量/売上高	65.5		
			目標値比	67%		
産業廃棄物排出量の削減			2021年度	達成:○ 未達成:×	評価	
産業廃棄物	廃プラスチック排出量の削減		原単位 目標値	264.1	○	廃プラの削減はよく出来ている。支給部品に入っている緩衝材を出荷用に使用するなどの改善効果が見受けられる。
	20,326kg		排出量/売上高	190.7		
			目標値比	72%		
木くず排出量の削減		原単位 目標値	918.9	×	支給部品が木材梱包されて入荷するので、削減が困難である。通い箱を利用する様に客先に要求しています。木くずの一部を有価物になるように交渉しています。	
112,753kg		排出量/売上高	1057.7			
		目標値比	115%			
一般廃棄	紙の使用量の削減		原単位 目標値	26.04	○	客先要求による紙ベースの提出物や納品書がある為多く使用しているが、裏紙利用、会議のペーパーレス化、タブレット端末の利用により削減効果が出ている。
	1,510kg		使用量/売上高	14.17		
			目標値比	54%		
総排水量削減			2021年度	達成:○ 未達成:×	評価	
水の総排出量の削減		原単位 目標値	105.8	×	塗装の洗浄工程に大量の水を使用する為、削減目標を達成出来なかった。前年よりは、未達率が低くなっている。生産優先で節水の意識が薄れてきているので、節水の意識向上に勤めたい。	
		排出量/売上高	115.1			
		目標値比	109%			
12,272㎡						
化学物質使用量削減		台:スティック1台	2021年度	達成:○ 未達成:×	評価	
化学物質適正管理		目標値	適正管理 (6.97kg/台)	○	毎月の購入量を把握し適正管理が出来ている。作業環境測定を実施しています。	
		実績	適正			
環境への負荷の低減			2021年度	達成:○ 未達成:×	評価	
自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組み		目標値	環境負荷削減項目	○	SDGsの取組を推進する事が、環境への負荷削減に繋がっています。	
		実績	削減活動実施			

* 購入電力は、アスエネ株式会社の実排出係数調整後:0.000(kg-CO2/kwh)を使用。

7. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

1) 適用される主な環境関連法規

法規名	当社に適用される要求事項	順守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (昭和45年法律第137号)	産業廃棄物の適正な処理 産業廃棄物管理票に関する報告書の提出	○
騒音規制法 (昭和43年法律第98号)	工場に置ける騒音の規制基準の遵守義務	○
振動規制法 (昭和51年法律第64号)	工場に置ける振動の規制基準の遵守義務	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び 管理の改善の促進に関する法律【PRTR法】 (平成11年法律第86号)	第一種指定化学物質の排出量等の把握・届出	○
大気汚染防止法 (昭和43年法律第97号)	ばい煙の排出の規制等 塗装の排気の測定の遵守義務	○
エネルギーの使用の合理化等に関する法律 【省エネ法】 (昭和43年法律49号)	エネルギーの使用の合理化の目的、措置 特定事業者の指定 中長期計画の作成、定期報告の義務	○
フロン排出抑制法(平成13年法律64号)	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化の遵守義務 (注)漏洩点検・記録	○

2) 違反、訴訟の有無

環境関連法規の順守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情もありませんでした。

以上

代表者	環境管理責任者
二川昌也	山本隆史

8 代表者の取組結果の評価及び見直し、指示

事業年度：7月～翌年6月

環境目標項目	目標値	評価 (2021年7月～2022年6月)	次年度取組み内容 (2022年7月～2023年6月)
環境経営基本方針		社員が、基本方針を理解し、CO2排出削減・産業廃棄物削減の意識を持ち取組が出来ている。	環境経営基本方針に沿って、更なる効率化、ムダな作業の排除に取り組んで貰いたい。
実施体制		エコアクション21改善推進体制に変更なし	エコアクション21改善推進体制を維持し、変更なく推進する。
二酸化炭素排出削減		〈二酸化炭素の排出削減〉 目標達成 太陽光発電のCO2排出ゼロシステムの恩恵を受けて、削減する事が出来き、目標達成に至った。 購入電力の削減以上に、化石燃料の削減も順調に進んでいる。	〈二酸化炭素の排出削減〉 目標値は継続 節電、化石燃料の削減を推進する為に、生産活動の効率化、在庫縮減、物流改善等あらゆる分野での見直しを実施し削減に努める事。
購入電力の削減(節電)	基準年度比 ▲1% (売上高当り)	〈購入電力の削減〉 目標達成 各事務所の照明をLEDに変更。改善活動を通して各工場の生産活動・生産工程の見直し、効率化の効果が削減実績に現れている	〈購入電力〉 目標値は継続 ・生産活動、生産工程の更なる効率化を推進。 ・工場照明の変更を検討する。
化石燃料の削減		〈化石燃料〉 目標達成 軽油の削減は、運航計画を明確化、フォーク作業の効率化により、達成に至った。ガソリンの削減は、リモート会議の影響が大きい。都市ガスの削減は、二見・神戸工場の作業効率の改善が削減に繋がっている。灯油の削減は来期の課題となる	〈化石燃料〉 目標値は継続 ・製品運搬等の運行計画を明確にし、不要な運搬を減少させる事に努める。 ・在庫縮減、物流改善を継続し、更なる作業効率の改善を推進する。 ・灯油を利用する洗浄工程の効率化を図る。
産業廃棄物の削減		全社的には、廃棄物削減の意識が向上し、良く出来ている。しかし今年度も木くずの排出量が削減出来なかった。	産業廃棄物の削減活動がマンネリ化しないように、各工場毎の意識向上活動を継続的に実施する。
廃プラスチックの削減	基準年度比 ▲1% (売上高当り)	〈廃プラスチックの削減〉 目標達成 目標達成:廃棄物の分別の推進効果がよく出ている。削減改善活動がマンネリ化しないよう注視する必要がある	〈廃プラスチックの削減〉 目標値は継続 廃プラスチックの削減は、良く出来ている為、ムダな作業を省く事や効率化を継続的に推進する。
木くずの削減		〈木くずの削減〉 目標未達成 材料・部品の納入用梱包材が増大し排出量が増えている。梱包材の再利用を推進し削減する事	〈木くず〉 目標値を継続 梱包材が今後も続いたため、梱包材・パレットの再利用の促進。
紙の使用量の削減		〈紙使用量の削減〉 目標達成 タブレット化の推進と業務改善より削減出来ている。	〈紙使用量削減〉 目標は継続 会議資料のペーパーレス化を推進する。 タブレット化を計画的に推進する
水使用量の削減	基準年度比 ▲1% (売上高当り)	〈総排水量の削減〉 目標未達成 前年度よりは、改善できているが、未達成である。洗浄工程・水没検査工程での、ムダな作業をしていないか再度確認する事。全社員への節水活動の徹底を行う事。	目標値を継続 ・洗浄工程、水没検査工程のムダを省き、効率化を推進。 ・5Sパトロール時の蛇口チェック ・啓蒙活動により、節水の徹底に努める事。
化学物質適正管理	適正管理 (6.97kg以下/台)	毎月の購入量の把握が出来ており、価格管理や使用量管理にも、展開されているので、継続実施をお願いしたい。	目標値を継続 管理はよく出来ている。継続して監視する事。
自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組み。環境への負荷低減		SDGsの推進が環境負荷削減活動に繋がっている。	引き続き活動を推進する事。
代表者による 全体の評価と見直し・指示		エコアクション21の活動を通して、環境負荷の軽減により経費節減にも貢献している。目標未達成の項目は、内容確認を実施し対策する事。 今後も継続して取組み目標を達成出来るように社員全員で更に取り組んで貰いたい。	環境経営方針は継続 生産工程の改善活動の展開を継続し、無駄の削減、経費節減を更に努めて欲しい 前年度未達成の項目は、更なる改善を推進する事 SDGsの推進と合わせて環境負荷の削減に努めてほしい。
是正事項	有/無	是正事項はありません	

報告者：環境管理責任者 山本工場長

出席者：二川社長、蟬塚工場長、植村工場長、中西工場長、家氏課長、川本係長、大霜社員